

三浦市:防波堤における破壊条件の設定

【誤りの内容・修正結果】

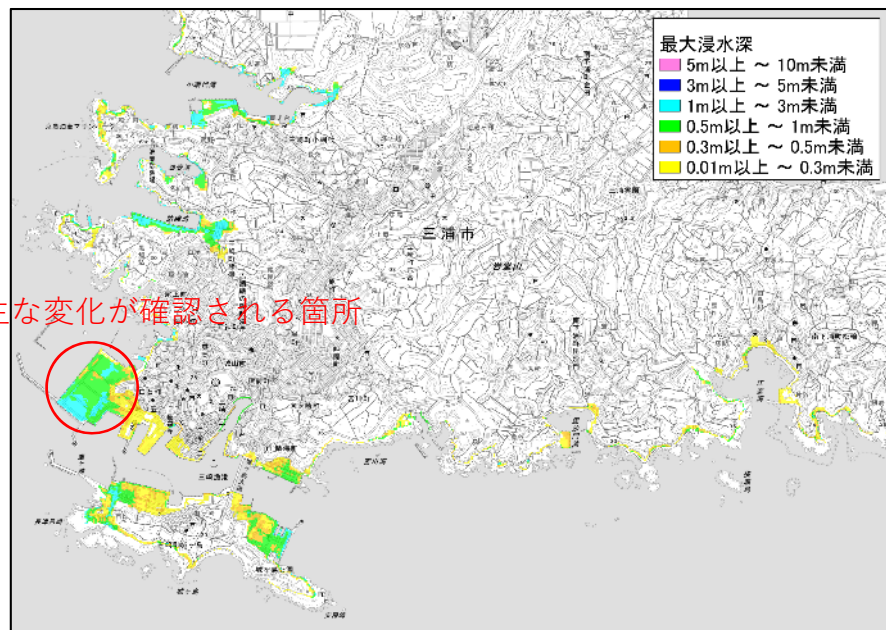
波の作用を軽減するために設置されている防波堤等の沖合構造物については、最悪の事態を想定するため、構造物毎に設定されている外力（設計波）が作用した時点で破壊することとしている。

しかし、三崎漁港、昆沙門漁港、間口漁港の防波堤について、設計波が作用しても破壊されない条件となっており、漁港に作用する波の力が軽減され続けてしまったため、浸水結果に誤りが生じた。

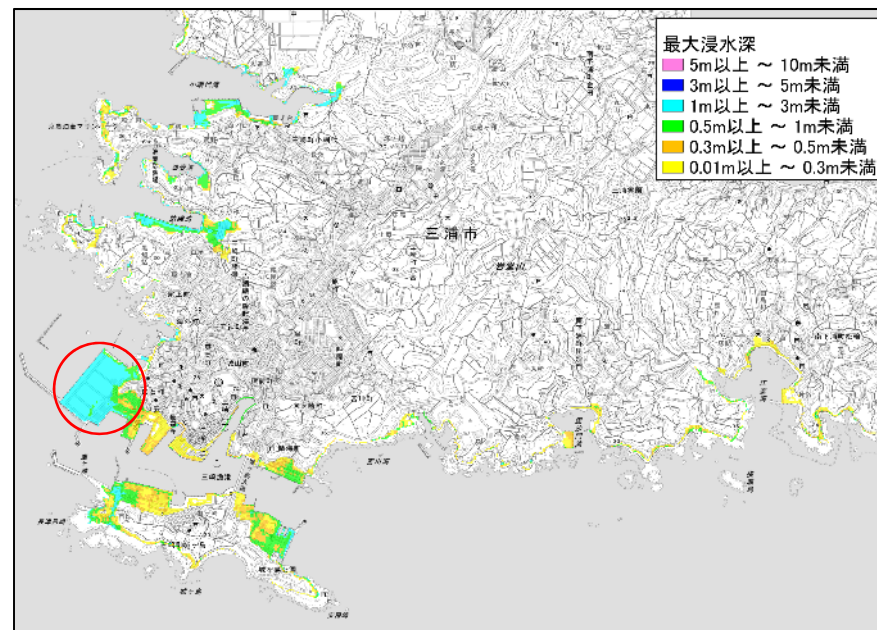
このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）、家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流、越波）において、修正を行った。

(代表例:最大浸水深)

【修正前】



【修正後】



藤沢市：浸水計算時の台風選定

【誤りの内容・修正結果】

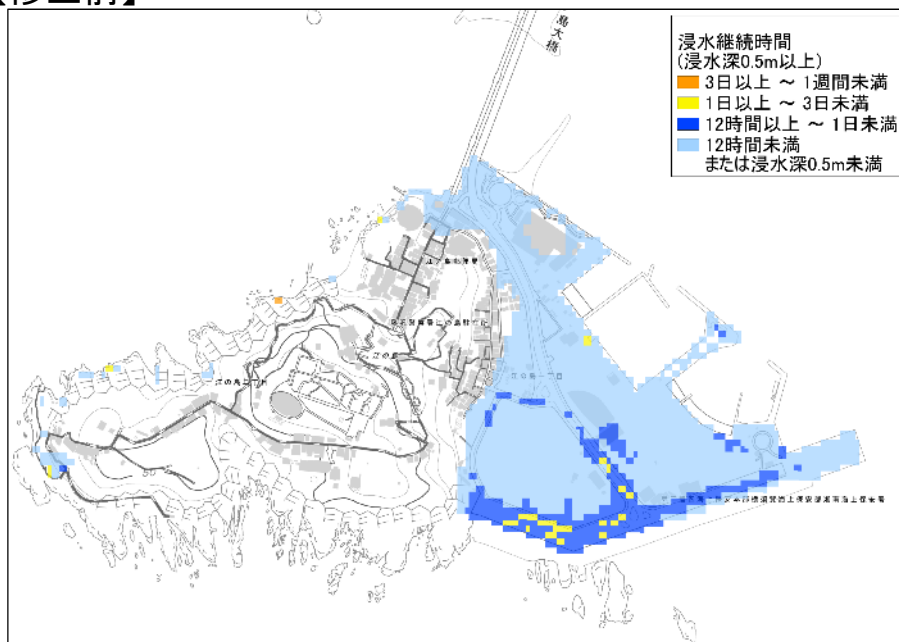
区域図の作成にあたっては、まず、相模灘沿岸を12のゾーンに分けて、影響が大きい台風の選定を行い、次に、各ゾーン毎に影響が大きいと選ばれた台風により浸水範囲等の計算を行う。

しかし、江の島地区は台風選定の際は、「藤沢・茅ヶ崎ゾーン」としていたものの、浸水範囲等の計算時は、誤って「鎌倉ゾーン」として計算してしまったため、江の島島内での浸水結果に誤りが生じた。

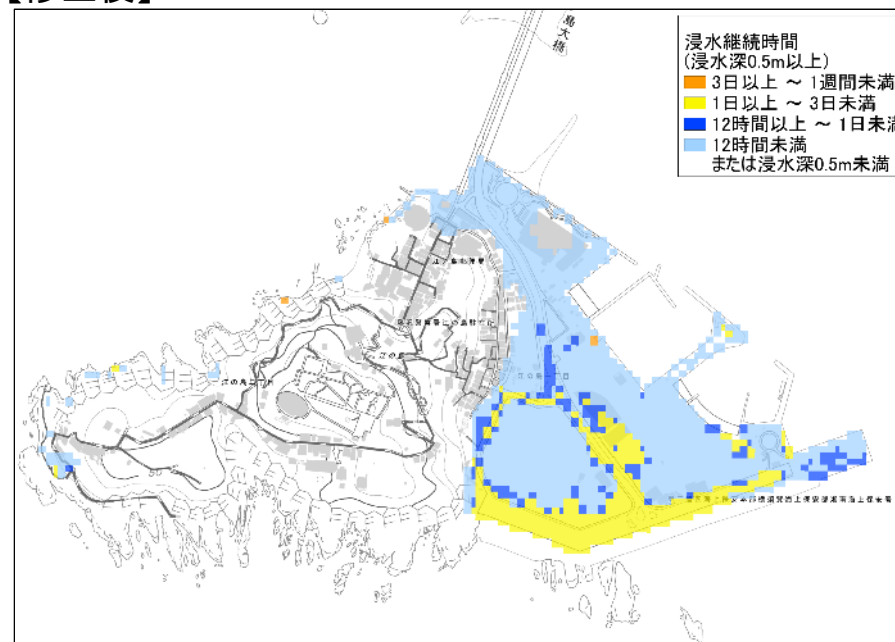
このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）、家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流、越波）において、修正を行った。

(代表例：浸水継続時間)

【修正前】



【修正後】



藤沢市:河川における排水条件の設定

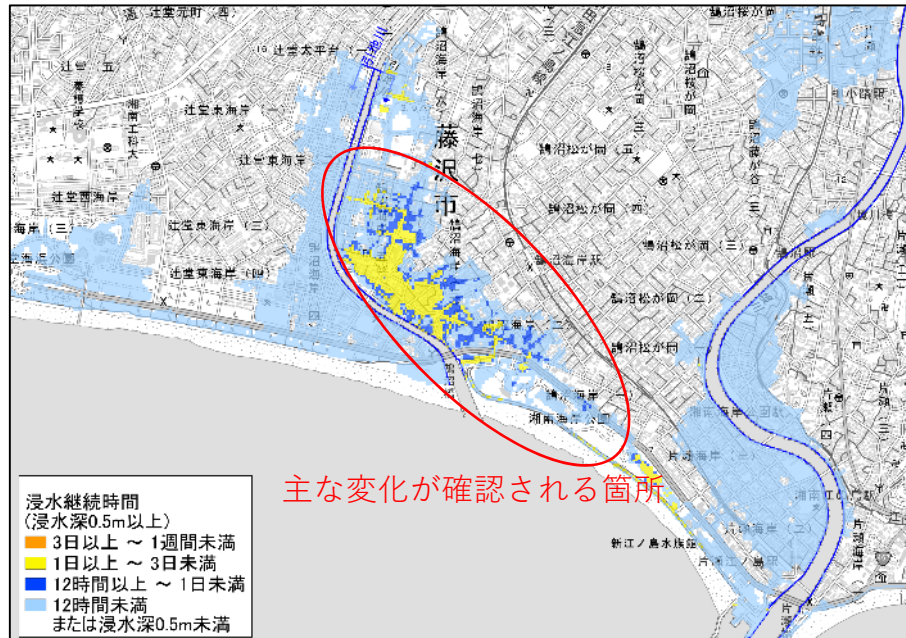
【誤りの内容・修正結果】

高潮の影響により海や川から溢れた水が排水される条件の設定で、藤沢市に位置する引地川の左岸側において、小水路による排水を見込まなかったことから、浸水時間が長引いてしまったため、浸水結果に誤りが生じた。

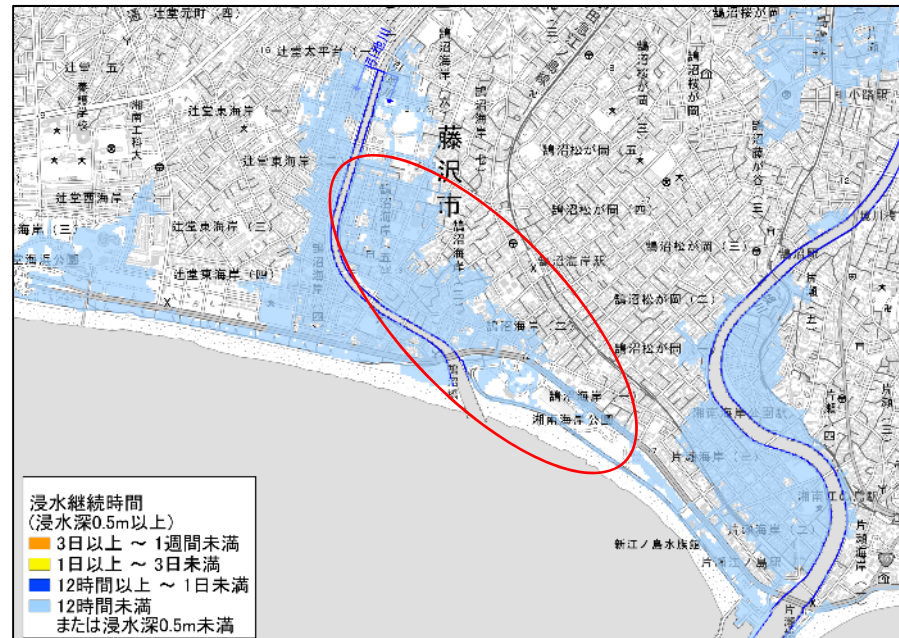
このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）において、修正を行った。

(代表例:浸水継続時間)

【修正前】



【修正後】



茅ヶ崎市:河川における合流地点の設定

【誤りの内容・修正結果】

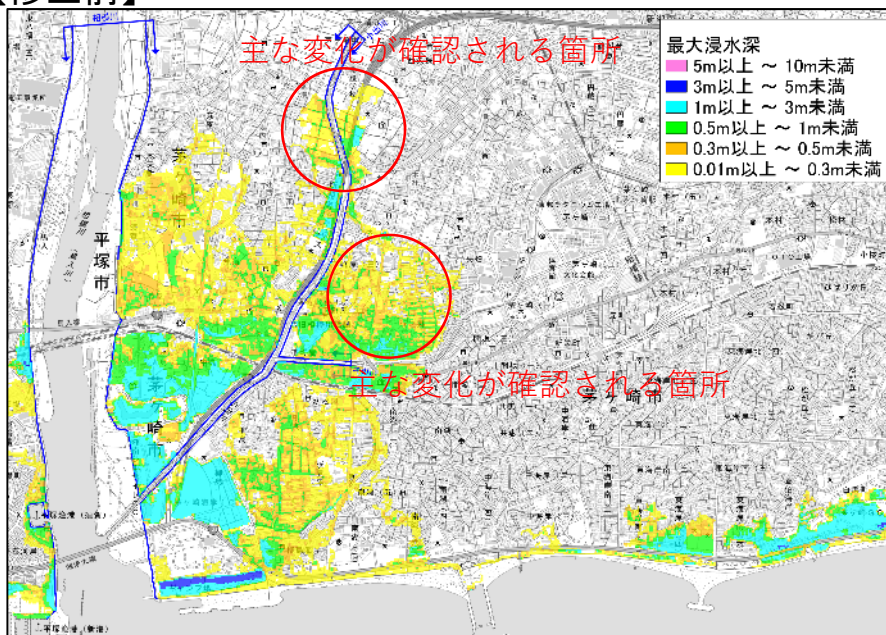
河川水位を設定するにあたり、本川と支川が存在する河川については、合流地点を適切に設定する必要があるが、茅ヶ崎市に位置する小出川（本川）と千の川（支川）において、合流地点を小出川の河口から1.6キロとしなければいけないところを、誤って1.0キロとしていた。

これにより、実際より千の川の水位が低く設定されていたことから、河川から水が溢れにくくなっていたため、浸水結果に誤りが生じた。

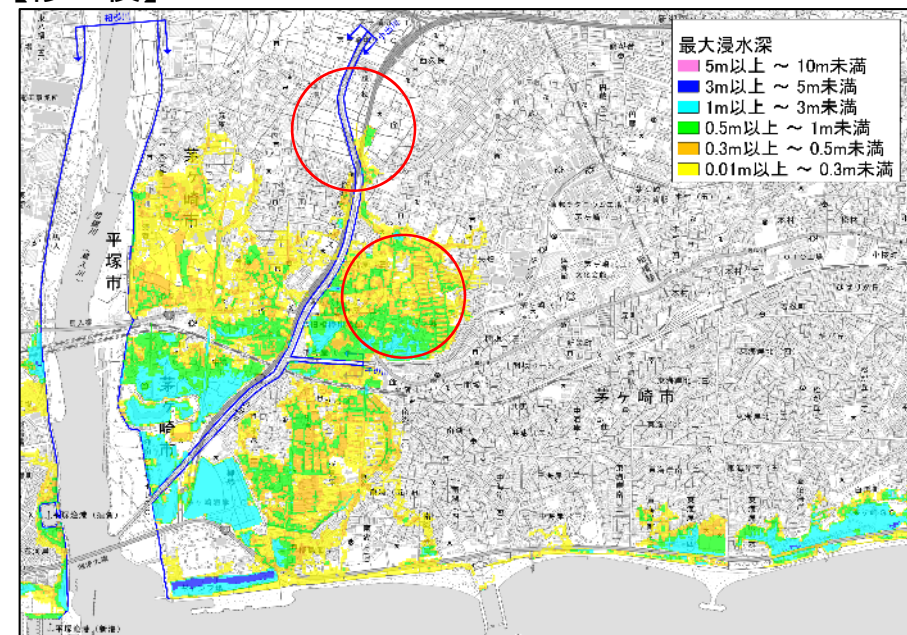
修正の結果、千の川の北側で浸水が増加する結果となった。また、千の川から氾濫する水が増えたことにより、小出川に合流する水の量が減少したため、小出川上流部で浸水が減少する結果となった。このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）において、修正を行った。

(代表例:最大浸水深)

【修正前】



【修正後】



茅ヶ崎市:アンダーパスにおける浸水条件の設定

【誤りの内容・修正結果】

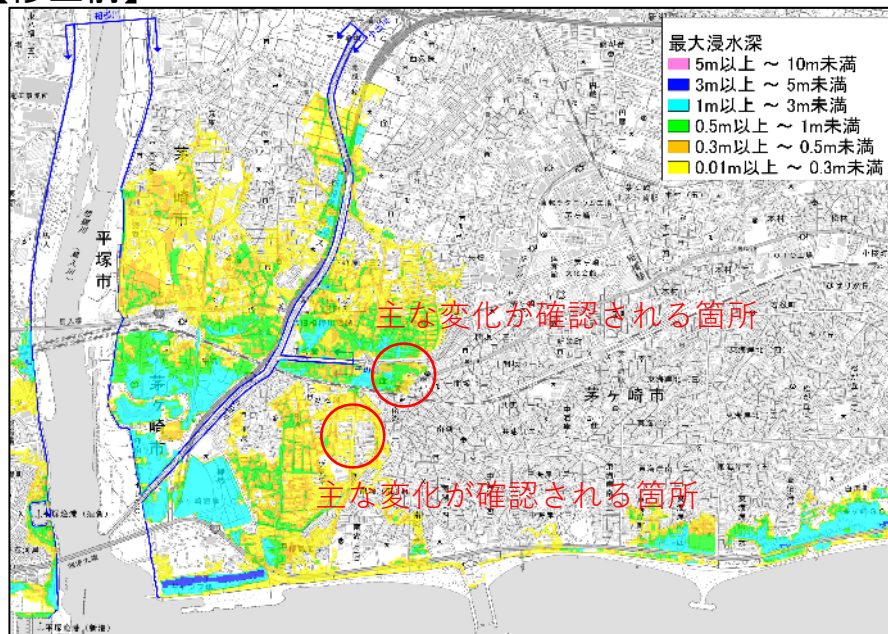
鉄道と道路等が立体に交差する、いわゆるアンダーパスと呼ばれる箇所においては、氾濫水が通過することを適切に設定する必要があるが、茅ヶ崎市にあるアンダーパスにおいて適切に条件を設定できていなかったため、浸水結果に誤りが生じた。

修正の結果、千の川から氾濫した水がアンダーパスを通過し地盤高の低い南側に流れたため、JR東海道本線の北側の浸水は減少し、南側の浸水は増加する結果となった。

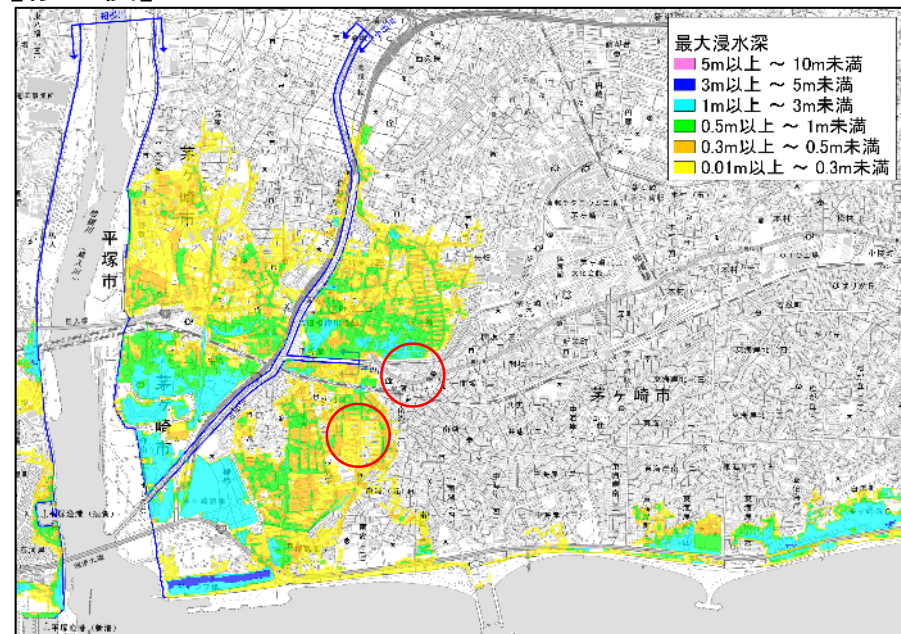
このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）、家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流）において、修正を行った。

(代表例:最大浸水深)

【修正前】



【修正後】



大磯町、二宮町：浸水計算時の台風選定

【誤りの内容・修正結果】

区域図の作成にあたっては、まず、相模灘沿岸を12のゾーンに分けて、影響が大きい台風の選定を行い、次に、各ゾーン毎に影響が大きいと選ばれた台風により浸水範囲等の計算を行う。

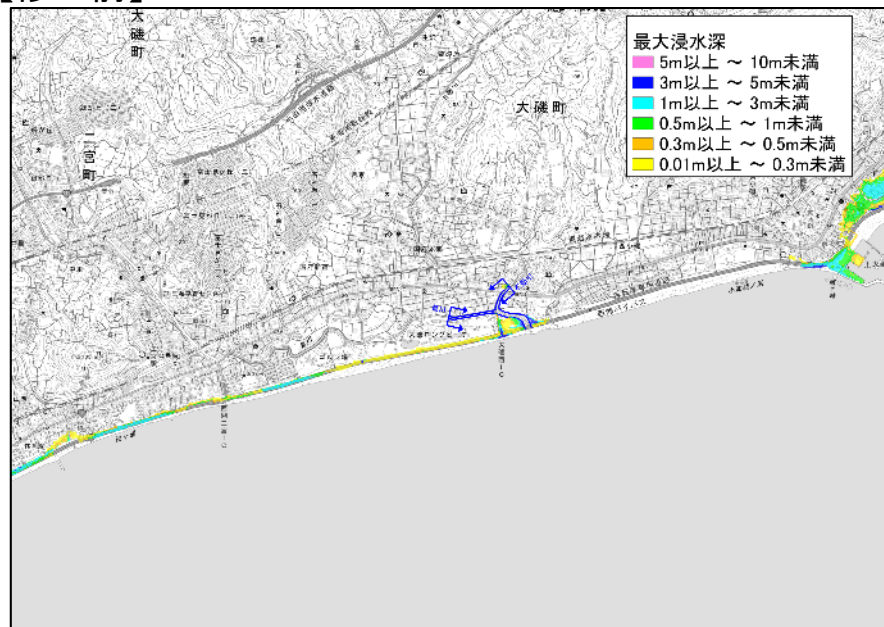
しかし、大磯西部・二宮地区において、「大磯西部・二宮ゾーン」で選ばれた台風ではなく、誤って「平塚・大磯東部ゾーン」で選ばれた台風を用いて浸水計算を実施してしまったため、地区全体の浸水結果に誤りが生じた。

修正の結果、浸水結果にわずかな変化が生じた。

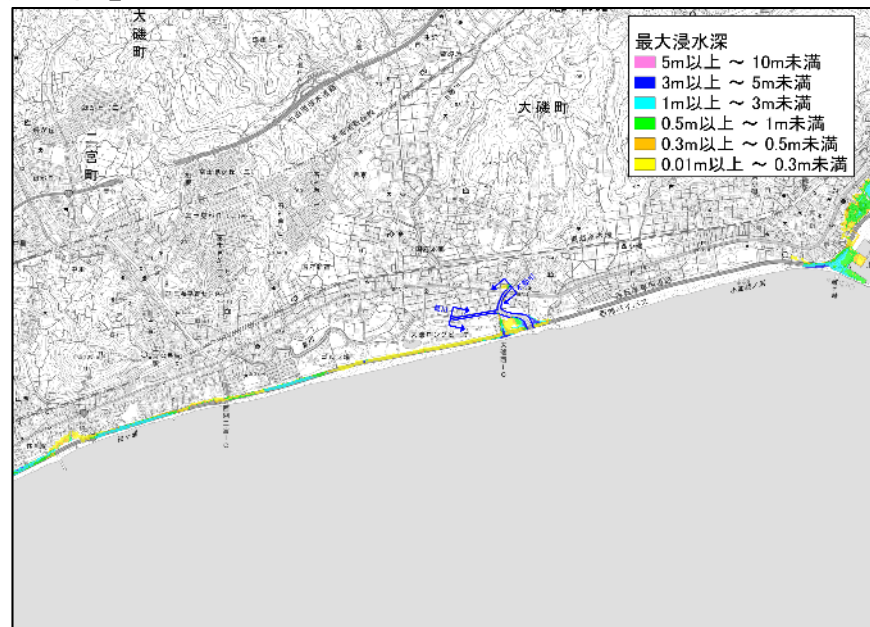
このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）、家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流、越波）において、修正を行った。

(代表例：最大浸水深)

【修正前】



【修正後】



大磯町:河口部における水位設定

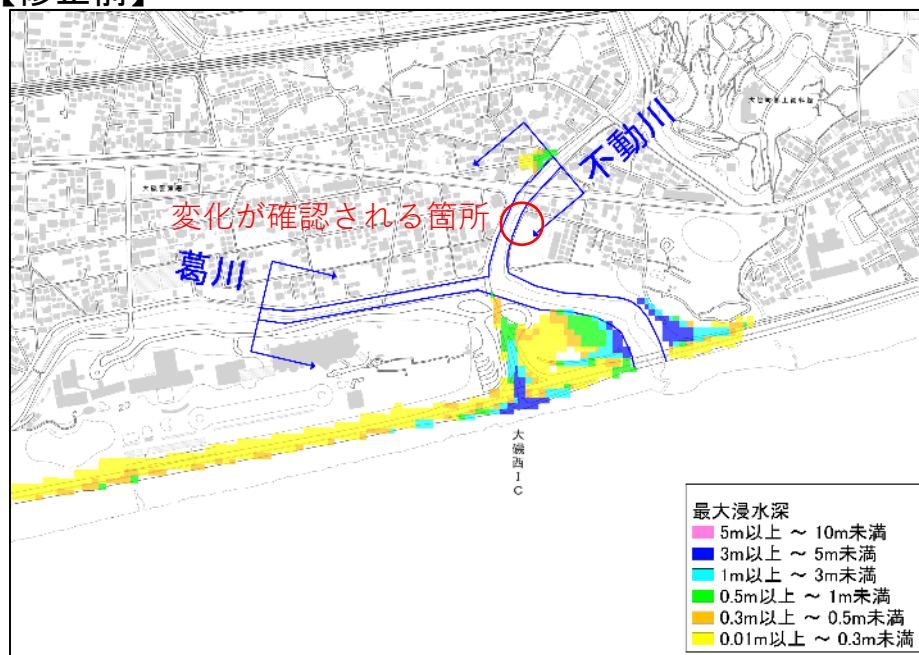
【誤りの内容・修正結果】

河川の河口部の水位については、台風の接近に伴い水位が上昇するよう設定することとしている。
しかし、大磯町に位置する葛川においては、誤って河口部の水位が上昇しない設定としていたことから、台風の接近による水位の上昇が反映できておらず、支川の不動川から溢れる水の量が少なくなっていたため、浸水結果に誤りが生じた。

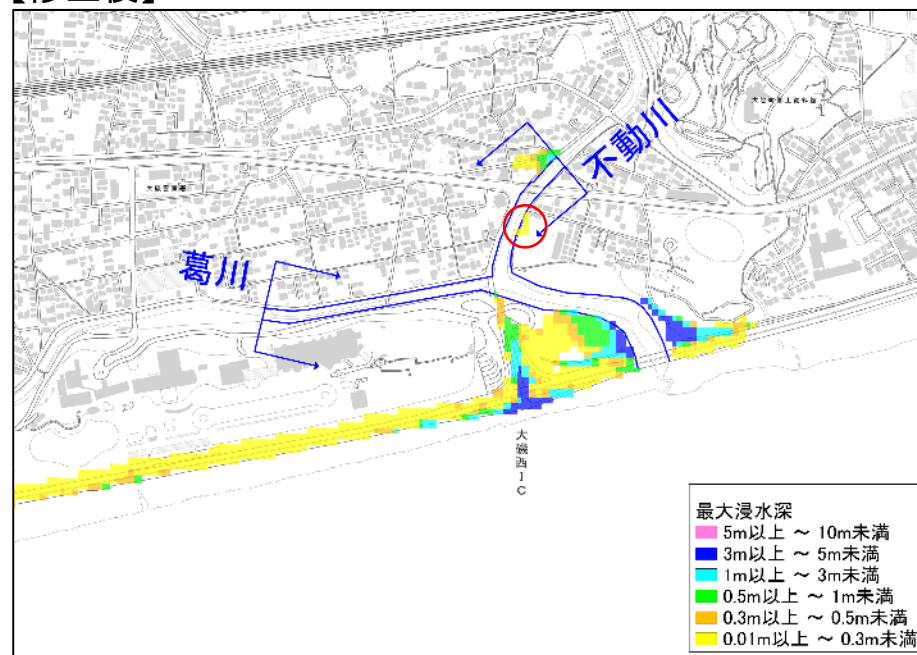
このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）において、修正を行った。

(代表例:最大浸水深)

【修正前】



【修正後】



小田原市:区域図作成時の着色設定

【誤りの内容・修正結果】

区域図の作成にあたっては、海からの浸水だけでなく、高潮の影響範囲において、河川の水位が上昇して氾濫してしまう浸水も考慮して区域図を表示している。

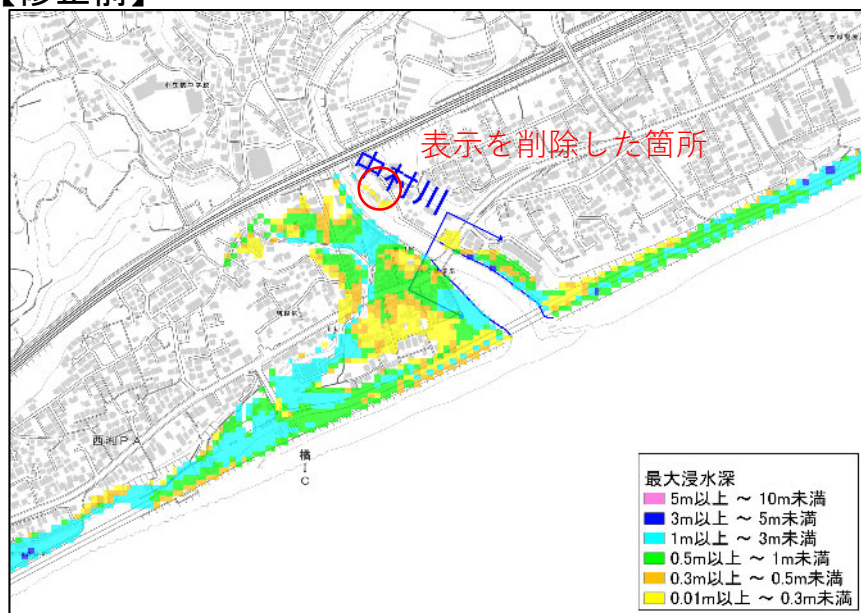
具体的には、「高潮による遡上区間（下図の青矢印）より上流は着色せず、高潮による遡上区間より下流で発生した氾濫による浸水のみ着色する」ことになっている。

しかし、小田原市と二宮町の境に位置する中村川の左岸側において、高潮による遡上区間より上流で発生した河川の氾濫による浸水について表示しており、区域図に誤りが生じた。

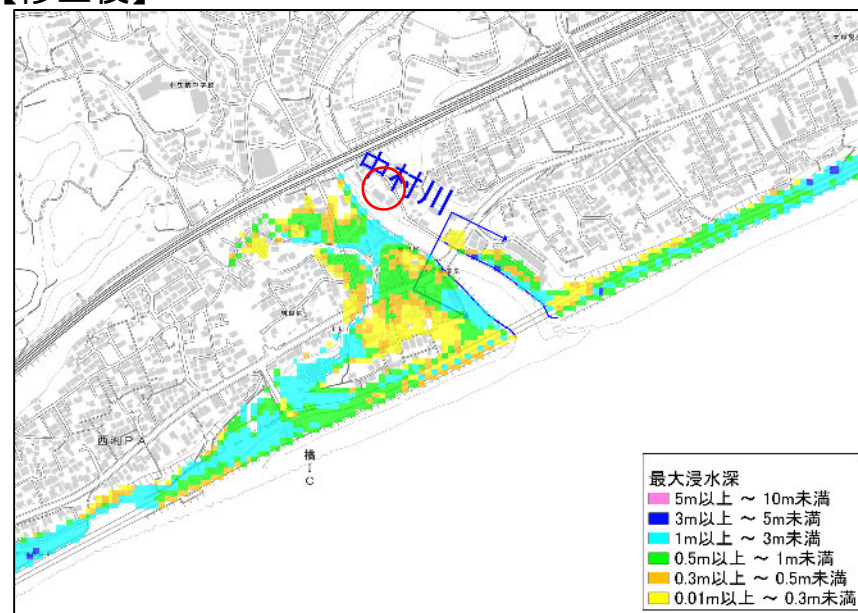
このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）において、修正を行った。

(代表例:最大浸水深)

【修正前】



【修正後】



小田原市:アンダーパスにおける浸水条件の設定

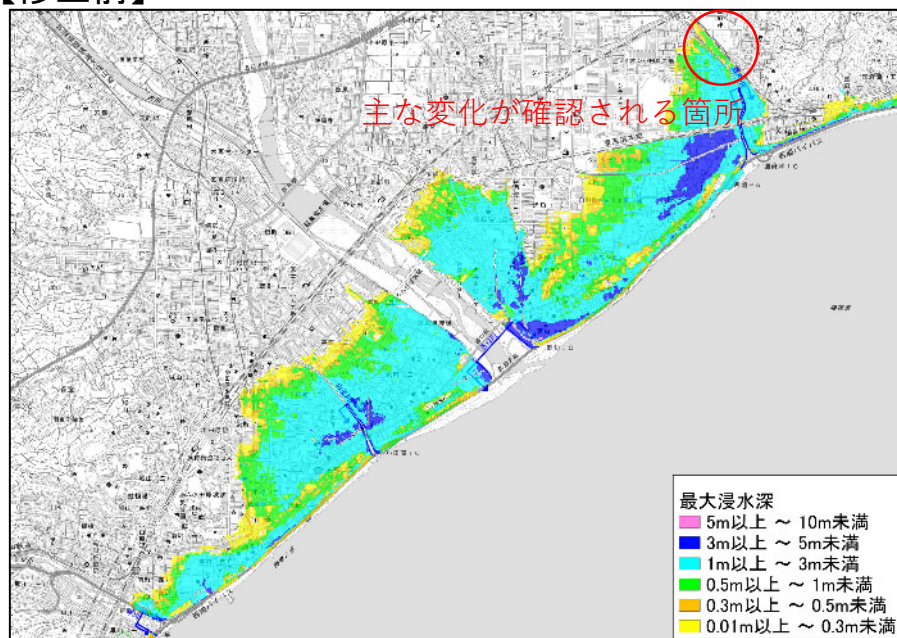
【誤りの内容・修正結果】

鉄道と道路等が立体に交差する、いわゆるアンダーパスと呼ばれる箇所においては、氾濫水が通過することを適切に設定する必要があるが、小田原市にあるアンダーパスにおいて適切に条件を設定できていなかったため、浸水結果に誤りが生じた。

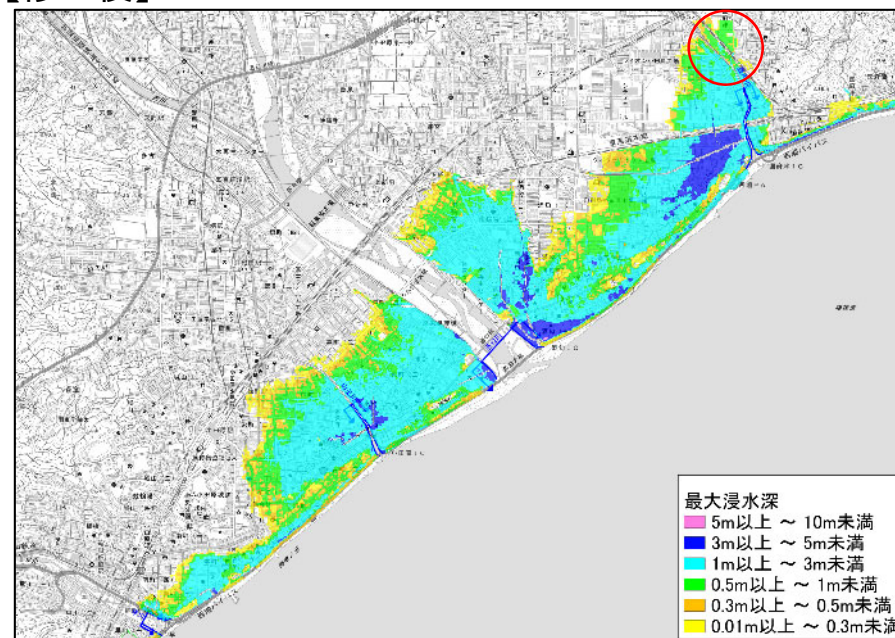
修正の結果、J R 東海道本線及び J R 御殿場線のアンダーパスを通過し浸水が広がった。このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）において、修正を行った。

(代表例:最大浸水深)

【修正前】



【修正後】



小田原市:アンダーパスにおける排水条件の設定

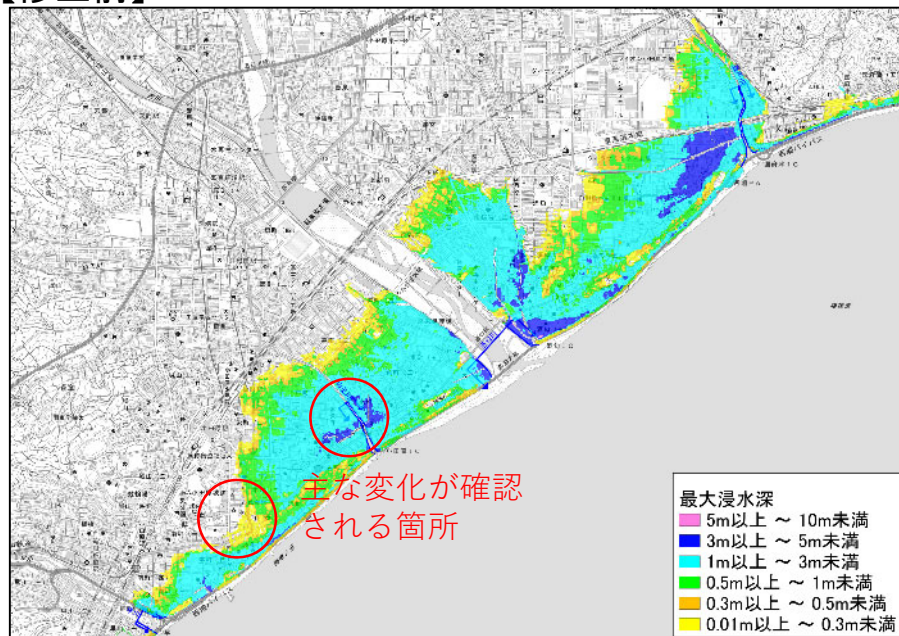
【誤りの内容・修正結果】

高潮の影響により海や川から溢れた水が排水される条件の設定で、小田原海岸（御幸の浜）に位置する西湘バイパスの盛土区間において、盛土の下を通るトンネルによる排水が見込まれていなかったことから、浸水が長引き、浸水結果に誤りが生じた。

このことから、浸水想定区域図（最大浸水深、浸水継続時間）、家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流）において、修正を行った。

(代表例:最大浸水深)

【修正前】



【修正後】

